

# 実効県営住宅内の用地を活用した、新しい(ブレイメン型)地域社会づくりの推進モデル事業について



新しい地域社会づくり研究会  
平成19年5月

## 1 趣旨・概要

千葉県では、県民自らが主役となって白紙の段階から施策・計画づくりが行われ、「千葉県地域福祉支援計画」等の各種計画が策定されました。そして、これらの計画や政策を県民が主導で、考え・実行する取組み(「プロジェクト・ブレイメン」)が進められています。

その取組みの一環として、実効県営住宅の建て替えを契機に、東習志野・実効地区をモデル地区として、地域住民自らが主役となり、考え・実行していく「新しい地域社会づくり研究会」が、平成18年7月に立ち上がり議論がスタートしました。

この研究会は、東習志野・実効地区における現状やニーズ、必要となる機能やサービス、それらの機能やサービスに地域住民がどう関わっていくかを議論することを目的としていますが、まず、実効県営住宅敷地内にある約1,700㎡の用地を活用して何が出来るかを検討していくこととしました。

そして、月1回のペースで議論を重ね、この3月に研究会では、約1,700㎡の用地の活用策として3つの案を盛り込んだ「中間まとめ」を公表しました。

今後、夏までを目途に地域住民との意見交換を行うとともに、県では民間事業者の導入に向けた実現可能性や事業化手法の検討を進めます。

これらの検討結果を踏まえて、年内には事業者の公募を行います。

事業者が決定した後も、事業者と地域が一体となった地域社会づくりを進めます。

### 〔キーワード〕

#### 「プロジェクト・ブレイメン」「ブレイメン型地域社会」

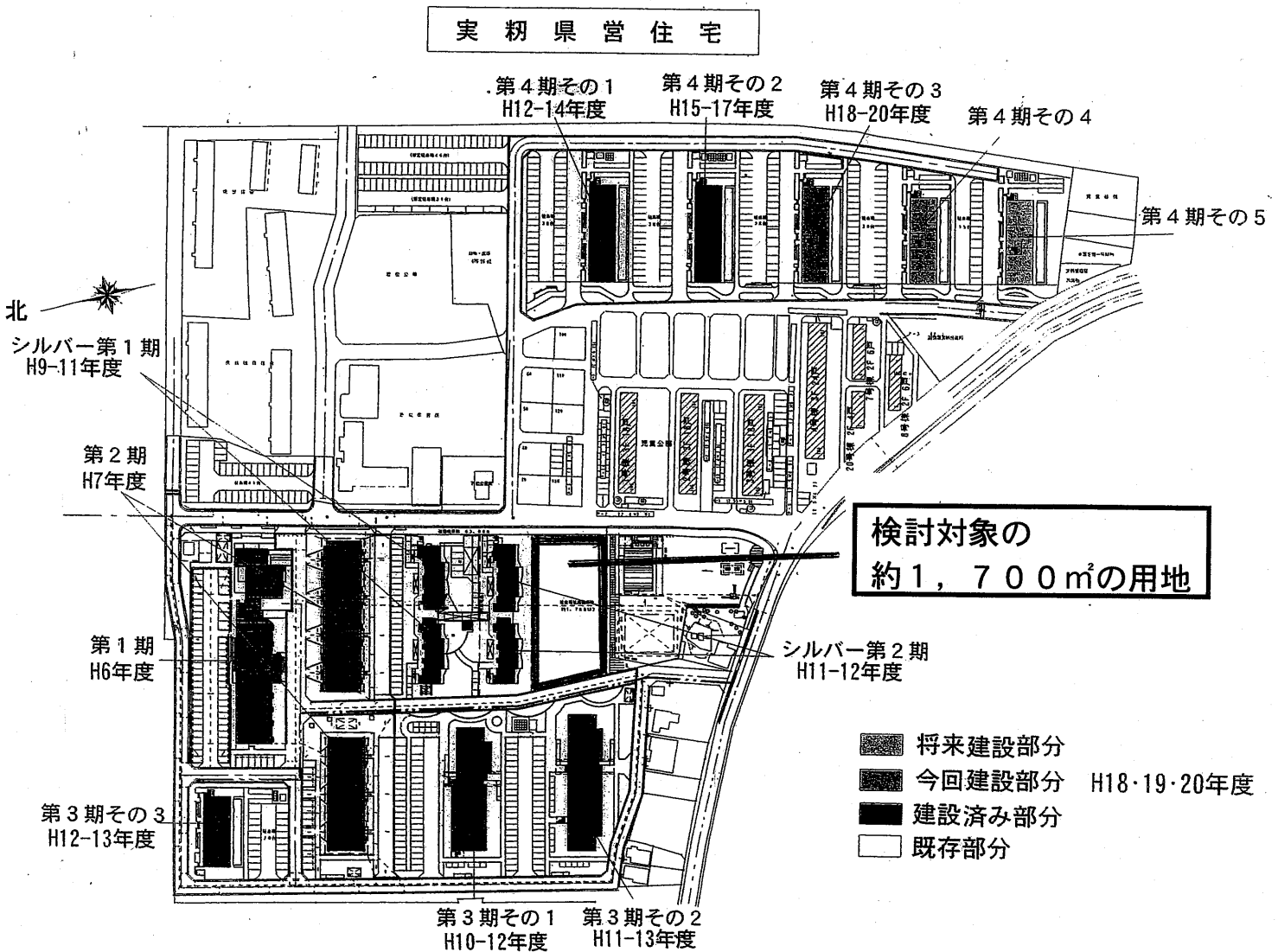
グリム童話の「ブレイメンの音楽隊」をヒントにした「プロジェクト・ブレイメン」には、子ども、障害者、高齢者を含めた県民一人ひとりが、それぞれの個性を生かしながら、誰もが仲良く住み続けられる地域社会をつくってほしいという願いが込められています。

ロバ、イヌ、ネコ、オンドリが、それぞれ自分たちの特徴を活かして、協力しながら泥棒を退治し、楽しい音楽を奏でながら仲良く1つの家で暮らしたというグリム童話の「ブレイメンの音楽隊」。様々な人がそれぞれの能力を活かしながら協力して暮らす「ブレイメン型地域社会」づくりを進めようとする取組みが「プロジェクト・ブレイメン」です。

2 当面の検討課題（実羽県営住宅内 約1,700㎡の用地の活用について）

研究会では、当面の課題である、約1,700㎡の用地の活用について、具体的なイメージ3案を作成しましたので、更に意見を頂くこととしています。

約1,700㎡の用地の取り扱い  
 土地所有者 : 千葉県（県有地）  
 建設及び事業実施 : 公募で決定した民間事業者  
 建ぺい率 : 60%  
 容積率 : 200%



( 実効県営住宅内 用地の活用の具体的なイメージ )

提案 1

	室名	行為
1階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ホール 収納式のステージと客席つき</li> </ul>	<p>障害があっても健常者と一緒に楽しめる車椅子ダンスや、卓球などのスポーツも楽しめる。</p> <p>この建物の中にヘルスステーションがあるので、高齢者の簡単なリハビリや介護予防事業などを行うことができる。</p> <p>ステージと客席を出して、地域交流演芸大会を開催。</p>
野外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラスが多く、中がよく見える。</li> </ul>	<p>地域物産販売で、地産地消運動。地域の個人や団体によるバザーやフリーマーケットを行い、物を大切に作る気持ちを育む。</p> <p>使用料を有料にして、特設販売会場として、期限付きで業者を誘致。</p>
2階	<p>常設スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃ図書館</li> <li>・おもちゃ病院</li> <li>・総合相談所</li> </ul> <p>・カラオケルーム</p> <p>・喫茶・軽食スペース</p>	<p>子どものときから障害の有無を超えて遊ぶ。</p> <p>リタイヤしたおもちゃドクターと子どもの世代交流。</p> <p>リフォーム詐欺等の被害に遭わないために、成年後見制度など、生活課題に対応するための相談。ヘルスステーション（地域包括支援センター）による相談。社会福祉協議会の心配ごと相談。など…。</p> <p>世代・障害を超えて楽しむ。個々で使っている機材は、隣接公園のイベントでも使える。（10～20名定員、防音）</p> <p>懇談の場。家賃を納入してもらう。または、当事者団体により運営。</p>
	イベントスペース	<p>子ども同士・子育て中の親同士が集える「子育てサロン」、高齢者を中心に、子どもたちや障害者が集まる「ふれあい・いきいきサロン」、聴覚障害者や視覚障害者が地域の中であたり前に生活するためのコミュニケーションを地域住民が支えるための「手話教室」や「点字教室」、みんなのための「パソコン教室」などを行う。</p> <p>「独居老人のための食事サービス」は、調理スペースで調理し、ここで会食する。</p>
	調理スペース	<p>独居老人のための食事サービス・障害者のための料理教室・男の料理教室などに使用。</p>
	ヘルスステーション (地域包括支援センター)	<p>現在、東習志野コミュニティセンター内にあるが、狭くて相談スペースがないので、ここに移す。</p> <p>総合相談所の一翼を担うと共に、リハビリや介護予防の担い手になる。</p>
	社会福祉協議会東習志野支部事務局	<p>ヘルスステーション（地域包括支援センター）との連携（保健・福祉の連携）を図る。</p>

提案 2

	室名	行為
1階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園と花壇</li> <li>・縁側</li> <li>・土間と食堂</li> <li>・喫茶スペース</li> <li>・厨房</li> </ul>	<p>土仕事で介護予防に匹敵する運動の機会を得てもらう。収穫物はここで使ったり地域に向けて販売したり。</p> <p>高齢者・障害者など地域の人々の気軽な居場所として開放する。喫茶スペースと関係付ける手も。</p> <p>屋外で野菜を収穫するなど半屋外作業に使う。食事は大きなテーブルを囲んで。</p> <p>高齢者・障害者など地域の人々の気軽な居場所として開放する。働く場所としても機能する。</p> <p>食堂用と喫茶スペース用と共用で。働く場所としても機能する。配食の拠点としても想定する。</p>
2階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室</li> <li>・サロン</li> </ul>	<p>誰でも入浴できるように、設備や人手の面で配慮する。畳コーナーも備えた広間。囲碁やカラオケなどいろいろな楽しめるように工夫する。簡単に間仕切りできるように。</p>
3階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝室</li> </ul>	<p>「通い」の人が休んだり、「泊まり」の人が就寝したり。静かさを第一に考える。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスステーション</li> </ul>	<p>地域包括支援センター。相談機能を充実させる。</p>

提案 3

	室名	行為
1階	多目的室 サロン（談話室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の会合を行う</li> <li>・卓球や碁等のサークル活動を楽しむ</li> <li>・介護予防のための健康づくり教室を開催する</li> <li>・放課後に子どもが来て高齢者とふれ合う</li> <li>・いじめ等、親に出来ない相談を受ける</li> <li>・地域からの寄付で読まなくなった本が読める</li> <li>・地域の人が子どもに読み聞かせをする</li> </ul>
	調理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室を開催する</li> <li>・会食サービスの食事を調理する</li> <li>・地域の配食サービスの調理をつくる</li> <li>・2階にある子育てサービス施設の子どものための食事を調理する</li> </ul>
	食事施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室でつくった料理を食べる</li> <li>・高齢者が会食サービスを受ける</li> <li>・地域の人が来て食べる</li> <li>・地域の人がちょっと立ち寄って食事ができる</li> <li>・健康増進施設に来た人がここで一休みをする</li> </ul>
	健康増進施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多忙な人が汗を流してリフレッシュする</li> <li>・若い人が気軽に健康づくりをする</li> <li>・子どものためのスポーツ教室や運動の苦手な子どももが体操教室を楽しむ、出張教室もしてもらう</li> </ul>
野外	多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の農家の野菜を安く買う</li> <li>・ゲートボールや野球等を楽しむ</li> <li>・独居の高齢者や地域の人が楽しくお弁当を食べる</li> </ul>
2階	子育て支援サービス施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児～3歳児の親子が交流し、子育ての悩みを気軽に相談する</li> <li>・こどもの発育相談をする</li> <li>・子どもを預けたり、送迎サービスを受ける</li> <li>・親が仕事等で遅くなった時に、子どもが食事をし、宿題を教えてもらったり、習い事をする</li> </ul>
	ヘルスステーション・地域包括支援センター相談室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康、介護、福祉に関する相談や支援を受ける</li> <li>・誰でも、いつでも相談を受けられ、定期的にボランティアのスタッフから専門的なアドバイスを受けられる</li> <li>・家事支援サービス等の相談を受けられる</li> <li>・ボランティア等地域活動をしたい時に相談できる</li> </ul>



# 「新しい地域社会づくり研究会」委員名簿

(50音順)

氏名	所属等	備考
石井 一郎	実朮連合町会	実朮・新栄
岩崎 信一	実朮5丁目第1町会	平成19年5月から
沖山 卓司	東習志野連合町会	東習志野・実花
河野 晋	実朮6丁目第1町会	実朮・新栄
佐藤 誠	実花町会	東習志野・実花
白岩 仁	実朮5丁目第1町会	実朮・新栄
関 早都子	社会福祉協議会東習志野支部事務局コーディネーター	東習志野・実花
瀬戸口 清博	社会福祉協議会東習志野支部	東習志野・実花
田村 義彦	実朮6丁目第1町会	平成19年5月から
寺澤 吉行	実朮駅前町会	実朮・新栄
得能 恒三	実朮むつみ町会	実朮・新栄
平田 智子	社会福祉法人 生活クラブ	『誰にもやさしい』まちづくり研究会
広田 直行 (会長)	日本大学生産工学部	学識経験者
藤川 範男	東習志野2丁目町会	東習志野・実花
三橋 俊一	社会福祉士	福祉関係者
茂木 俊輔 (副会長)	千葉在宅ケア市民ネットワーク ピュア	『誰にもやさしい』まちづくり研究会

実朮・新栄 = 実朮・新栄地区まちづくり会議推薦

東習志野・実花 = 東習志野・実花地区まちづくり会議推薦

〔オブザーバー〕

県：健康福祉部 健康福祉政策課、健康福祉指導課

県土整備部 住宅課

総合企画部 政策推進室

市：保健福祉部 保健福祉調整課